

令和元年度 門川町立門川小学校 学校関係者評価書

学校の教育目標「自ら学び 心豊かに たくましく生きる 子どもの育成」

重点目標〔 1 基礎学力の定着 2 基本的な学習習慣の定着 3 読書活動の推進 4 基本的な生活習慣の定着 5 学校・家庭・地域が連携した教育の推進 〕

【 4段階評価： 4～期待以上 3～ほぼ期待通り 2～やや期待を下回る 1～改善を要する 】

重点目標	目標達成のための手段(評価指標)	学校の自己評価(分析・考察・改善策等)	自己評価	関係者評価	学校関係者評価【意見・感想・改善策等】
1 基礎学力の定着	(1) 分かる・できる授業の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今年度の校内研究は、「かどがわ5段階授業モデル」の確実な実践を通しての学力向上に取り組んできた。その結果、CRTでは国語・算数共に前年度の数値さらに全国平均を上回った。特に本校の課題であった国語が大きく伸びた。また下位層の割合も昨年度よりは減少した。</li> <li>○ 基礎基本的な学力は徐々に伸びてきているが、文章読解力や表現力、思考力はまだまだ課題があり、今後も授業の工夫を図るなどの手立てをとりながら、より一層、学力向上への取組に尽力していく。</li> <li>○ 授業における学習態度指導の徹底及び家庭学習の習慣化と内容の充実についてはまだ十分とは言えず、次年度は対応を検討し、向上を図っていききたい。</li> </ul>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先生方の工夫ある指導により、CRTテストでは目標値を大きく上回り、普段の成果が結果として表れている。また、下位層の改善も見られている。これからもこのままの取組を期待している。</li> <li>・ 学校での学習の様子や学力の様子等、詳しくは分からないが、授業参観で見ると、児童の学習態度、授業への参加の仕方・反応等、大変良く、このまま頑張ってもらいたいと思う。</li> <li>・ 学校からの説明を聞き、今年度の頑張りの様子がよく伝わってきた。</li> <li>・ 今後も児童の実態に合わせて、より良き向上のため努力してほしい。児童のやる気を大切に。</li> <li>・ CRTの結果、国語・算数ともに全国平均を上回っており、すばらしい。これも学校・家庭での取組を一致させることで実現した結果だと思われる。</li> </ul>
	(2) 学習内容の定着を図るための補充指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>* CRT(標準学力検査)</li> <li>・ 平均得点率の全国平均との差(点) [目標値]国語+1以上・算数+1以上 R1: 国語○2.2・算数○3.5 (H30:国-2.2・算1.0)</li> <li>・ 評定1出現率(%) [目標値]国語18.0%以下・算数14.0%以下 R1: 国語○11.0%・算数○13.2% (H30:国18.8%・算14.3%)</li> <li>* 児童自己評価「ほぼ毎時間しっかり聞いている」 [目標値]95%以上 → R1: △93.7% (H30: 94.8%)</li> <li>* 児童自己評価「宿題・宅習: ほぼ毎日提出している」 [目標値]95%以上 → R1: △92.5% (H30: 94.5%)</li> </ul>			
2 基本的な学習習慣の定着	(3) 基本的な学習習慣の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 図書委員会等の啓発活動により読書量の向上が見られた。次年度もさらに読書の取組の啓発を図っていききたい。</li> <li>* 1か月の読書冊数[目標値]35冊以上 R1: ○45.0冊 (H30: 33.8冊)</li> <li>* 1年間の年間貸出冊数[目標値]35冊以上 R1: ○45.0冊 (H30: 34.2冊)</li> </ul>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 読書量の向上がCRTテストでの国語の結果にも表れている。次年度も更なる取組を期待したい。</li> <li>・ 読書冊数・貸出冊数ともに増加しており、良い結果である。</li> <li>・ 児童は「興味深い。楽しい。」という思いから読書に取り組むので、更に読書意欲を向上させる取組をしてほしい。</li> </ul>
4 基本的な生活習慣の定着	(5) 学校における基本的な生活習慣の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童の意識は向上してきているが、まだ十分な状態ではない。自ら率先して取組ができるよう、さらに日常指導を徹底していく。</li> <li>* 児童自己評価 「ほぼしっかりとやっている」[目標値]85%以上 ・ あいさつ: ○88.3%・ろう下歩行: △84.6% ・ 無言清掃: ○88.3%・整とん(くつ箱): ○94.4% ・ 整とん(トイレスリッパ): △82.0%</li> </ul>	2	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校を訪問中、子どもたちは、あいさつ・廊下歩行・トイレのスリッパ並べなど、とても立派にできていた。今後もこうあって欲しい。</li> <li>・ 廊下歩行の「あしみえ」励行等の委員会活動発表を続行すれば改善していくと思う。</li> <li>・ 習慣づくと自然にできるようになるので、この調子で取り組ませてほしい。</li> </ul>
	(6) 家庭における基本的な生活習慣の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「子どもの成長を支え育む“かどがわ4か条”」ポスター配付や学校保健委員会・家庭教育学級での講話等で、メディアコントロールについて家庭への啓発を図った。</li> <li>○ 今年度本校が事務局だった町PTA研修大会に、多くの保護者が協力してくれた。</li> </ul>			
5 学校・家庭・地域が連携した教育の推進	(7) 家庭における共通実践事項の取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ラジオ体操は、児童だけでなく、保護者の協力をPTAと連携して啓発していききたい。</li> <li>* 家庭における共通実践事項の家庭自己評価</li> <li>・ メディアに関する約束の設定「設定している」 [目標値]全校80%以上 → △70.1% (H30: 69.3%)</li> <li>・ 家読の時間の設定「設定(週3～月1)している」 [目標値]全校60%以上 → △56.3% (H30: 71.4%)</li> <li>◇ 各地区ラジオ体操参加率 前年度比: 1日平均-6名</li> <li>◇ 家庭教育学級(年間9回開催) 参加率53%</li> </ul>	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域での様子は学校とは違って、やや努力不足な面が見られる。あいさつや登下校の交通安全はさらに向上してほしい。</li> <li>・ ラジオ体操の参加率が低い。保護者の協力・PTAの連携の啓発がより一層望まれる。</li> <li>・ 地区内で児童が元気に活動している様子を見かける。また朝・夕のあいさつもできている。しかし、地区育成会への加入が少ないため、児童がどの子か分からず、見守りが十分にできないのが残念である。</li> <li>・ 子どもたちの生活環境の変化で、メディアなど対応が難しい面も多い。昔は家庭教育も徹底していたが、今はしつけ・マナー等の家庭差が大きい。児童にはよりよく成長してほしいと思う。</li> </ul>
総評	<p>学校全体がいつ訪問しても整然としており、子どもたちも明るく礼儀正しい。朝・夕、登下校時のあいさつをはじめ、生活習慣は良く出来ている。学力面でも、先生方の努力のおかげで、CRTテストの結果にあるように学力は向上している。細かいことで悩んでいる児童が笑顔で生活できるように気配りもあり、よい学校経営が行われている。家庭での教育やしつけ、メディアの利用の仕方等は、今後も対応を考えていってほしい。</p>				